

よろこび

立つだけで 手を叩いて

悦び 歡ばれた日があった

息するだけで 涙を流して

喜ばれ 喜んだ日があった

ひとり立つことのさびしさも

生きていくことのきびしさも

同時にあって よろこびだった

立ち尽くすよりない昼も

息をしているだけの夜も

真際にあって よろこびだった